

会員の皆様へ

理事長 米山文明

余寒の候、会員の皆様にはご清栄にご活躍のこととお慶び申し上げます。学会通信第24号をお届けします。



思い起こしますと、この通信も私が理事長に就任を機に復活しました。

(私は知りませんが、学会創立時に1~2回発行されましたが、すぐ消滅してしまったようです。)「学会通信」発行の私の意図は、年1回の学会誌だけでは、学会内外におこる学術論文以外の関連情報伝達、タイミング、緊急性、必要性、会員の諸活動の紹介、会員相互の情報交換など、かなりの不備や欠落があるのを補充することが目的でした。編集委員諸氏、事務局、そして会員の皆様のご協力で、何とか不足ながら継続できました。多少でも効果があったとすれば、その方々のお蔭です。厚く御礼申し上げます。

これについて私見を申し上げますと、執行部からの情報伝達が大部分を占め、会員の皆様からの貴重で率直なご意見がもう一つ欲しかったという点です。今後もし継続されるならば、この点も加味されたら良いと思います。

次に、今年度後半の活動を簡単にご報告します。

①演奏部会各理事が主導された「歌の集い」シリーズは順調に活動され、今後益々活発に発展して、立派な演奏家が育つてゆくことを期待しています。

②11月例会の会場が芸大側の事情で急に使用不能となり、小川昌文理事のご努力のお蔭で、横浜国大ホールでの開催が可能になりました。立派な会場でよかったのですが、急の変更と会場の地理が会員の皆様には不馴れで分かりにくく、交通手段の点でもご不便をおかけしましたことは反省しています。今後の検討事項です。

③事務局混乱のお詫び

一刻も早くと言いながら、今年度もまだ恒常的に安定できず、一旦決定したかと思われた事務局員が例会直後になって突然退職を申し出たため、事務局が混乱し、会員の皆様には再度大変ご迷惑をおかけしました。しかも、今回は新制度による役員選挙の直前でもあり、影響はさらに増幅しました。目下後任を探しておりますが、とりあえず川上事務局長宅を事務連絡本部にしてありますので、こちらにご連絡下さい。

④現在、新制度による役員選挙が行われております。これまでより複雑になりましたので、(会長、理事の別投票)、ご面倒でしょうが、今後の学会発展にも関わる選挙ですので、よろしく適任者をお選び下さい。

(事務局註：選挙最中の執筆です。)

最後に、非力な理事長としての私を叱咤激励して、ご援助、ご協力を賜った会員の皆様と、理事、役員の皆様に、重ねて深甚の感謝と御礼申し上げます。そして、皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



理事退任のことば

小林武夫 理事

この春、3年間末席を汚した理事会から退きます。

医学畑の人間なので、会の運営には戸惑うことも多く、どれだけお役に立ってたか忸怩たるものがあります。例会の内容は、私には興味があるものが多く、勉強になりました。

私が担当したのは次の事項です。

1. 会報の編集

投稿規定を新しくしました。ワープロで文章を作成して欲しいとお願いしたところ、遵守されるようになりましたが、要約、著書の所属、英文（タイトル、著書所属、サマリー）、引用文献の書き方などが不備の投稿もありました。査読は以前より厳しくなったとお考えの方もいると思います。本会の財務報告や会員数の動向なども記載するようにしました。本誌のような性格の雑誌では、音声や動画入りのdiscもつけることを考慮すべきだと思います。会員の声をききたくて、投書を呼びかけましたが、なかなか投稿をいただけませんでした。ぜひ、手軽に御意見をお寄せ下さい。

2. 用語集をつくるお手伝いをしました。まだ不完全なものなので、さらに改訂をして、いずれ市販されるようになればと思います。

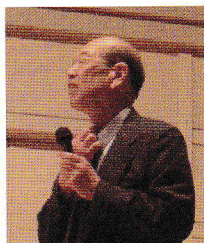
3. Dr. Anthony Jahnの講演会を持ちました。彼は私の友人で、2011年の大震災の直後にNew York Metropolitan Operaの日本公演に同行した音声専門医です。彼の著書を翻訳出版する企画があります。

今後の希望

1. 会の運営

会員数を増やすこと。特に若い方に入って欲しい。

そのためには会の活動を魅力的なものにする。学会事務所は川上理事に迷惑をかけてい



るので改善が必要です。

2. 例会

1) 春秋のうち1回は東京を離れて行く。その地方の会員を1回限りの例会会長に指名して、企画をたててもらおう。

2) パネルディスカッションを組むこと。テーマを決め、1年前からパネリストを指名して、準備してもらおう。

3) 例会は、出席者から会費として、お金（2000円～3000円）を徴収する。これは例会長が自由に使用できるものとする。面白い企画をたてれば参加者が増えて例会の運営は楽になる。

4) 例会の前夜か終了時に、簡単な茶話会をもち、会員の懇親をはかる。会費は1000円程度とする。

皆様ありがとうございます。

川村英司 理事

理事退任に際して何か原稿をと依頼されましたが、10数年の間結果として反省することしかできなかった自分にうんざりしています。

かつて50年ほど前の日本の音楽界で一番国際化に遅れていたのは指揮者の分野だったのではないのでしょうか？しかし今では逆に声楽界が一番遅れてしまったと思っています。それを少しは正しい方向に声楽界をまとめることをと考え提案もしたつもりですが、微力過ぎました。

どうぞ今回若返った理事会で私心を捨てて大きな視野で日本の声楽界を生き返らせる努力をして下さい！

山田実 理事

*山田先生は体調を崩され、入院された事もあって「ご挨拶」はありませんでした。

(事務局)



会員だより

- ・淡野弓子会員のドイツリートリサイタル
平成25年2月4日 東京文化会館小ホール
- ・上杉晴仁会員のリサイタル
平成25年2月3日 上野学園ホール
- ・近藤直子会員とその合唱団コンサート
「スターバト・マーテル」
平成24年11月18日
- ・小川昌文会員のNHKラジオ第2放送
「音楽教科書で世界一周」
平成24年12月31日
- ・米山文明会員のNHKラジオ第1放送
「ラジオ深夜便」
平成25年1月11日
- ★新盤 米山文明会員の新作DVD
「キレイな声と呼吸」(仮題) 初級ワーク編
近日発売予定
- ★新盤 CD ハイブリッド・シュッツの音楽
Vol.4 《ガイストリッヒェ・コーアムジーク
1648年》全29曲 SDG/MP-005,006
製造・販売元 コジマ録音 定価3000円(税
込み)
- ★新刊 淡野弓子著『バッハの秘密』
平凡社新書 定価882円(税込み)

今後の予定

5月例会、総会のお知らせ

第97回例会、第49回総会

日時 5月26日(日) 10:00～16:30

会場 東京藝術大学音楽学部第1ホール

研究発表

・末 芳枝(本学会理事)

ポルタメントの効用 ―日本歌曲における―

・豊田喜代美(本学会理事)、小谷彩子
オペラ上演におけるコルペティトゥアの役割

総会 第49回総会

特別講演

講師 永原 恵三(ながはら けいぞう)

本学会員、声楽家、合唱指揮者、音楽学者、

お茶の水女子大学大学院教授(音楽学)

演目「思考としての合唱の声」

合唱演奏曲目

『アンファン・フィニ』より、詩：三好達
治、作曲：木下牧子

『嵐吹く～百人一首による5つの曲』より、
詩：百人一首詠み人、作曲：次郎丸智希
合唱団 コール淡水・東京 ピアノ 鈴木ゆか

現役声楽家による演奏とお話し

「日本伝統芸能その真髄と情(こころ)」

「女楽(おんかががく)」源氏物語(若菜下)」より

「女楽」NPO法人和文化交流普及協会

鼓 望月 太左衛門 横笛 望月 太嘉若
薩摩琵琶 吉永 鶴奏 お謡 山中 一馬 金春流
司会、解説、語り 小川 夏葉 主催者

第8回国際声楽指導者会議について

第8回国際声楽指導者会議 The 8th
International Conference of Voice Teachers

2013年7月10日～14日

於オーストラリア・ブリスベン
icvt2013 で、詳細が見られます。

参加ご希望の方は、学会国際部長、山田実
voicem@f00.itscom.net まで。

夏季研修会について

日時 8月19日(月)～20日(火)

会場 日本福音東京ルーテル教会

コンサート案内

メンデルスゾーン基金友の会「春の集い」

2013年5月12日(日)午後1時30分

ヒルサイド・プラザ(代官山)

〈ゲーテとイタリアとメンデルスゾーン〉

講演：星野宏美

演奏：ゲーテ他の作詩によるメンデルスゾ
ーン姉弟の歌曲の紹介

淡野弓子と「ムシカ・ポエティカ」の歌い手
たち ピアノ 山形明朝

連絡：03-3970-0585

~~~~~

2013年7月8日(月)正午/午後7時(2回公演)

ミュージア川崎 シンフォニーホール

044-520-0100

椎名雄一郎 オルガン

淡野弓子指揮 シュッツ合唱団・東京

シュッツ/バッハ/ラインベルガー他

## お知らせとお願い

### 会費納入のお願い

未納の方は早急にお振込下さいますようお願いいたします。

#### お振込先

ゆうちょ銀行

口座番号 00170-0-119920

加入者名 日本声楽発声学会

三菱東京UFJ銀行 津田沼支店

普通預金 0393943

口座名 日本声楽発声学会 米山文明

### 事務局だより

事務局長 川上勝功

会員の皆様、長い間たいへんお世話になりました。事務局長として未熟者の私を常に温かく見守り、どのような難局に直面しましても、その都度多くの方々から直接・間接に激励のお言葉を頂戴し、何とか乗り切る事ができました。この場をお借りしまして心から御礼申し上げます。



さて、当学会の3年に一度の選挙もようやく終える事ができました。今回は新しい規約に則っての施行となりましたので、事務局サイドといたしましてもいくつかの戸惑いに出くわし、会員の皆様にも何かとご不便をおかけしたのではないかと拝察いたしております。

加えて、選挙の前にも最中にも多くのトラブルが発生しまして、理事会でもその対応にたいへん苦慮するという場面が何度かありました。今は、選挙の結果も判明し、一応やれやれと言ったところですが、多くの問題が全て解決に至ったというわけではありません。それらを抱えたまま、これからの学会を運営して行かねばなりませんので、新しく発足します理事会に、全て託すという事になりました。

事務局の所在地や新しい事務局員の雇用、そして新理事による役割分担等、多くの課題を決定づけて行かねばなりません。会員の皆様のご協力も期待すると共に、若返った理事会に日本声楽発声学会の明るい将来を期待することといたしましょう。

事務局長は、外国の方々から executive secretary と呼ばれますと、とてもカッコいいのですが、実際の務めは、general manager としての役目を果たすこととなります。従いまして、可成りの重責と言うこととなります。次の事務局長には、それに相応しい方が、選任されます事を願っております。私も出来る限りの協力を惜しみませんが、会員の皆様の絶大なる応援と、ご協力を切に切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、長い間のご協力、ご支援、本当に有難うございました。

2013年4月26日

日本声楽発声学会 学会通信 第24号

発行 日本声楽発声学会事務局

神奈川県横浜市金沢区西柴2-29-22川上方

TEL/FAX 045-789-3688

e-mail : [jars@jars-voice.com](mailto:jars@jars-voice.com)